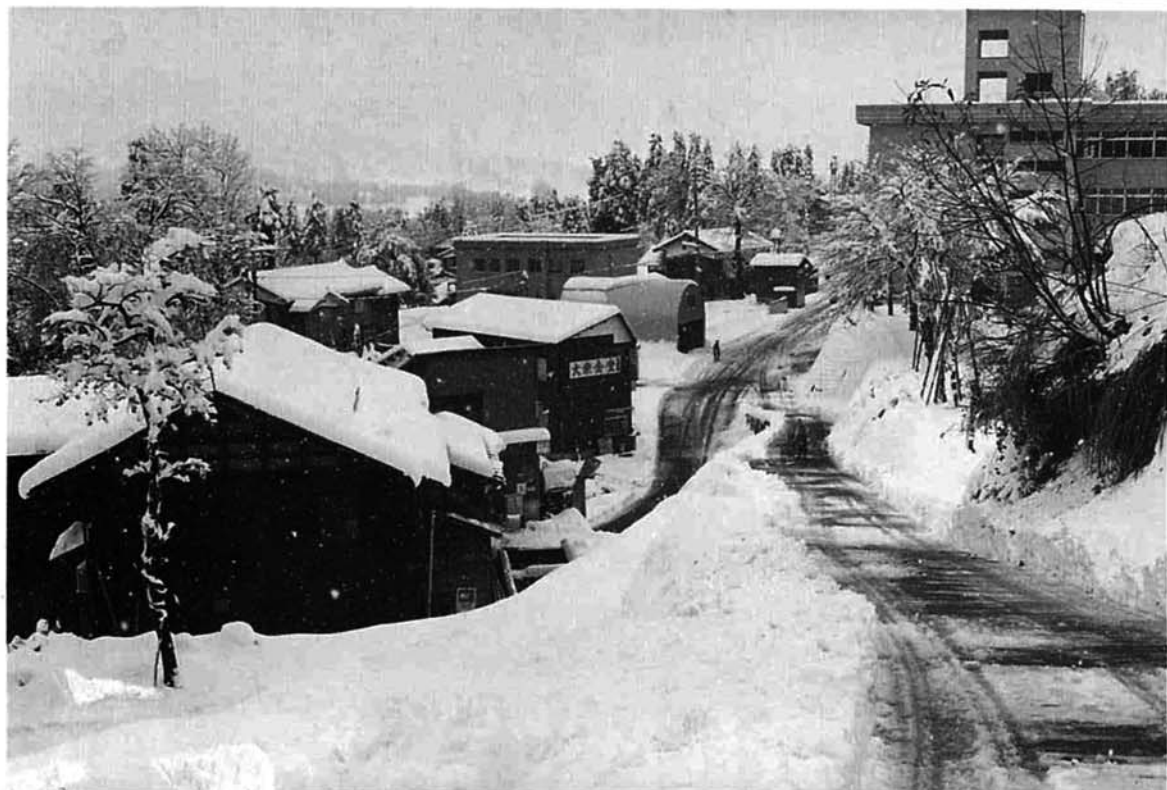




冬間近を忘れさせるような10月下旬から続いた好天の中、一一

明

月三日に行われた恒例の産業まつりも快晴に恵まれました。大勢の人たちで賑い、みなさんなごやかにまつりを楽しんでおられました。



寒気団を伴った西高東低の典型的な冬の気圧配置となった一一

暗

月二十九日。夕方から降り始めた雪は翌三〇日朝には村全体を白一色に染めました。役場前で積雪二五センチ、除雪車も初出動しました。



お知らせ

税金は明るい未来づくりの第一歩

平成元年度の「中学生の税に關する標語」で、種芋原中学校三年生の佐藤哲也君(佐藤茂夫さん方)が作った標語が、長岡税務署長賞に選ばれました。作品は見出しの

社会福祉に お役立てを

農高山古志分校が 収益金を寄付
長岡農業高校山古志分校の生徒会が、文化祭の収益金二、八五



九円を社会福祉に役立ててくださいと、山古志村社会福祉協議会に寄付しました。これは文化祭のときのバザー等を行った際の収益金で、一月二七日に生徒代表が役場を訪れ、直接村長に手渡ししまし

た。みなさんの善意に、感謝を申し上げます。

来春(平成2年)の 保育所入所 申込受付

来春(平成二年四月から)の保育所入所希望児童の申し込みを受け付けます。希望者はお申し込みください。下記のとおり出張受付もいたします。

■対象者は、家庭で保育する両親や祖父母等が、就労・病気などにより保育できず、入所を希望する人です。

●受付期間
一月一日～十五日
●申込先

役場(住民課) ☎59-2330
出張受付
種芋原保育所 一月二一日(月)午前九時～二時
虫亀保育所 一月二二日(火)午前九時～二時
竹沢保育所 一月二三日(水)午前九時～一時
※申し込みには、印鑑と保険証を持参ください。

12月の 納.税.保険料

- ★固定資産税(3期分)
- ★国民健康保険料(12月分)
- ★国民年金保険料(12月分)
- ★保育料(12月分)

献血にご協力 ありがとうございます



11月10日に村民会館前と山古志農協本所前で行われた献血に、次の74人の人たちからご協力いただきました。(敬称略)

○印は400cc採血者

竹 沢

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 関 稔 | 川上敏郎 | 佐藤誠一 |
| 星野フジエ | 高橋純治 | 齊藤 隆 |
| 星野 力 | 星野信一 | 小池一雄 |
| ○小川勝行 | 青木正子 | 佐藤真由美 |
| 小池順子 | ○佐藤雅俊 | 小川紀幸 |
| ○関 幸雄 | 小川勇二 | 星野伸治 |
| ○高橋武俊 | | |

東竹沢

- | | | |
|-------|------|------|
| 小川喜太郎 | 上田清作 | 藤井 勝 |
|-------|------|------|

種芋原

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 坂牧イミ | 小川藤雄 | 坂牧宇一郎 |
| 金内美佐子 | 草間綾子 | 佐々木道夫 |
| 長谷川美恵子 | 榊澤孝 | 小川キヨエ |
| 坂牧久美子 | 今井雅広 | 榊澤博文 |
| 佐藤 誠 | 小川靖子 | 川上理恵子 |
| ○米岡祐三 | 榊澤美知夫 | 坂牧和人 |
| 佐藤勝義 | 金内英樹 | 酒井正文 |
| 坂牧真由美 | 金内由香里 | 小川春美 |
| 小川正枝 | 佐藤長子 | 山口 博 |
| ○佐藤幸夫 | 坂牧あき子 | 榊澤勝男 |
| ○古畑豊和 | 海野見和子 | ○坂牧忠雄 |
| 小川作男 | ○小川六一 | 坂牧良一 |

南 平

- | | |
|-------|------|
| ○畔上 勝 | 畔上日吉 |
|-------|------|

虫 亀

- | |
|------|
| 峰村和美 |
|------|

村 外

- | | | |
|------|-------|-------|
| 佐藤 敦 | ○景山勝弘 | 菊入 淳 |
| 星野勝美 | 石垣早織 | 西片 望 |
| 菊入裕子 | 油川貴幸 | 長谷川和敏 |
| 河野義広 | 菊入一昭 | 青木一広 |
| 久保正一 | | |

農地の無断転用は 禁止されています

農地(田・畑)を農地以外(宅地等)に転用するときは、県知事の許可を受けなければならぬことになっています。
この手続きは、村農業委員会を経由して県に許可申請を行います。したがって、農地転用をしようとする人は、事前にもよりの農業委員が農業委員会事務局にご相談のうえ、転用許可申請の手続きをされるようお願いいたします。
山古志村農業委員会



▲ まつり名物となった桂谷農家組合のあわもちつき

快晴・盛況 産業まつり

例年どおり一月三日(文化の日)に役場前で行われた産業まつり。昨年の風を伴ったドシャ降りの天候とは違って変わった快晴の下、

盛況のうちに終了しました。内容的には昨年とほぼ同じでしたが天気が晴れば人々の心も晴れます。会場を訪れたたくさんの方々には、こやかにまつりを楽しんでいただくようです。



▲ 金賞を受賞した右から佐藤誠一、浅染伊吉、畔上直吉さん



▲ 一番人気はなんといっても山いもです



▲ 子供たちは農産物よりお菓子

業改良普及所・高橋長岡班長さんの審査講評でも、「天候不順の中で昨年より出品が多かったという事は、生産者のみなさまのご努力によるものです。全体を通じて優秀品が多かったようです」と、生産者のみなさんを称賛する言葉がありました。

三分の持ち帰り解除と同時に、農産物はきれいになくなりました。一番人気は、なんといっても「山いも」のようです。この産業まつりでの農産物は、品評会を主眼に出品されますから品質の良いことは保証済ですが、その反面即売用として見ると数量的に物足りないことも確かです。品質を落さず量を集めるという事は、難かしいことでしょうか(特に山いもなどは掘る人が限られています)。毎年せっかくな村外から来る人をシヨンホリさせるのもかわいそうな気がします。

村の功労者 表彰

これからも
いっそうの
ご活躍を……

今年も一月三日(文化の日)に、「村の功労者表彰」が役場で行われました。この表彰は村のほう賞条例によるもので、村の発展や住民福祉のために尽くされ村民の模範と認められる人や、村行政の発展に積極的に協力された人に対し、長年の功労に報いるために行われるものです。

今年受賞された人は、次のとおりです。(敬称略) これからも、いっそうのご活躍を期待いたします。

- ▲ 議会議員特別功労表彰
 - 金内 栄吉 (種芋原)
 - 高野 哲四 (竹沢)
- (山古志村議会議員として二〇年在職し、村勢の発展に尽くされた)
- ▲ 議会議員永年勤続表彰
 - 五十嵐要吉 (東竹沢)
 - 星野 義雄 (竹沢)
 - 小川 金雄 (東竹沢)
 - 小幡 勝 (種芋原)
 - 高野新之丞 (竹沢)
- (山古志村議会議員として二二

年在職し、村勢の発展に尽くされた

- ▲ 産業振興永年勤続表彰
 - 樺沢 勝男 (種芋原)
 - 坂牧 フサ (種芋原)
- (農業協同組合職員として二五年以上在職し、産業振興に尽くされた)
- ▲ 消防団員永年勤続表彰
 - 関 正之 (東竹沢)
 - 佐藤 茂夫 (種芋原)
 - 坂牧 政夫 (種芋原)
 - 斎藤松太郎 (南平)
 - 青木 行雄 (南平)
- (消防団員として二〇年以上在職し、消防防災に尽くされた)
- ▲ 役場職員永年勤続表彰
 - 高野 定雄 (竹沢)
 - 小川 藤雄 (種芋原)
 - 上田 清作 (東竹沢)
- (山古志村職員として二五年以上在職し、村行政の発展に尽くされた)

古志高原

スキー場

12月10日に

オープン

村民が待望していた本格的なスキー場「古志高原スキー場」が、二月一日にオープンします。当日は午前二時三十分から安全祈

斉藤長正さんが 壺を寄贈

東京で手広く食肉業を営んでおられる池谷出身の斉藤長正さんが、産業まつりを記念し祝って、韓国産の古代の壺を村に寄贈されました。この壺は空色に輝ききれいな

願祭、二時から竣工式が行われ、待望のスキー場開きは二時三十分から三時までです。(雪のない場合は延期)

- 農産物品評会金賞受賞者
- 穀類
 - 佐藤 久美 (種芋原・玄米)
 - 畔上松一郎 (南平・玄米)
 - 小川 信義 (種芋原・玄米)
 - 川上喜三郎 (東竹沢・玄米)
 - 坂牧仙治郎 (種芋原・玄米)
 - 畔上 明彦 (南平・玄米)
 - 佐藤 利一 (種芋原・玄米)
- 野菜類
 - 星野 広明 (竹沢・玄米)
 - いも類
 - 青木 安義 (種芋原・山いも)
 - 上田勇五郎 (東竹沢・里いも)
 - 畔上直吉 (南平・ばれいしよ)
 - 葉菜類
 - 五十嵐富恵 (虫亀・白菜)
 - 小池五郎作 (竹沢・野沢菜)
 - 根菜類
 - 佐藤 誠一 (種芋原・大根)
 - 斎藤 直利 (南平・レンコン)
 - 雑穀類
 - 小池 竹夫 (竹沢・小豆)
 - 藤井 正作 (南平・ささげ)
 - その他
 - 浅染 伊吉 (東竹沢・ゆり)



▲ 斉藤さんと壺を手にした酒井村長

もので、大きさは直径四〇センチ高さ五〇センチあまりの大きなものです。

が手渡されました。斉藤さんは前から、絵画の大作等をたくさん村に寄贈しておられ、これらが村民会館や役場内に飾ってあります。この壺も、村民会館に飾られる予定です。

小・中学校 音楽交歓会

山古志村の全児童・生徒が集まり、音楽交歓会が開かれました。十一月一日、会場は山古志中学校。種芋原中学校白銀校長の「音楽は文化の一翼。文化とは生きがいを感じさせるものです。その中でも音楽は最も人間的なものです。音楽は今後みなさんが生きてゆくために必要なものです。小学校低学年には少し難かしいかな……。」との開会の言葉の後、「山はともだち」の全員合唱で交歓会が始まり



ました。小学校一、二年生も小さな口を大きく開けて、元気な歌声を響かせていました。

一時過ぎに始まったこの交歓会は、三時ころから第二部「音楽鑑賞会」に代わりました。これは、「新潟大学教育学部附属長岡小学校合唱部」のみなさんから来村していただき「天使のマーチ」、「山のヨーデル」、「エーデルワイス」などの美しいハーモニを聴かせてもらったものです。

種雄牛

花平十号

成績抜群

村の種雄牛・花平十号を使って生まれた牛が、いずれも肉質良好高価格で販売されています。特に十一月一日に東京中央食肉市場で行われた枝肉研修会での成績は抜群でした。出荷牛二頭中この



▲ 花平十号

花平十号を父とする牛が五頭。この平均価格は九五四、〇〇〇円(全出荷牛の平均は八〇三、〇〇〇円)。平均体重六四〇kg(全体平均五八五kg)。枝肉重量四〇〇kg(全体平均三五五kg)。枝肉率四一・五八七(全体平均二二・六三三)。このように大きな歩留り、平均単価といずれも他の牛を引き離しています。したがって当然、販売価格も高くなったわけですね。

この種雄牛は、子牛時に島根県から導入されたもので、春から秋にかけて葎峠牧場で活躍しています。今年六歳となるこの牛は、山古志村に嫁入りしてから五年。年々種付頭数も増え、今では確固たる主の地位を築いたようです。現在も今回出荷された牛の兄弟となる牛が村内で多数肥育されており、これらの牛の所有者は、今後の出荷を楽しみにしています。

私のふるさと創生論(五)

五回目となった「私のふるさと創生論。いろいろな人たちの意見を紹介しましたが、今回は前回に引き続き長岡農業高校山古志分校のみなさんのご意見を紹介します。私のふるさと創生論」は今回で終わらせていただきます。

- ・葎峠にアスレチックをつくる。
- ・村内にサイクリングコースをつくり、貸自転車もする。
- ・スポーツ広場のテニスコートを増やし、屋根をつける。
- ・葎峠を本格的なキャンプ場に整備する。
- ・ボーリング場を建てる。
- ・コンビニエンスストアをつくる。
- ・ファーストフードの店を出す。
- ・喫茶店をつくる。
- ・カラオケパブをつくる。
- ・公園(憩いの場)をつくる。
- ・パン屋さんをつくる。
- ・本屋をつくる。
- ・錦鯉(魚)の水族館をつくる。
- ・スキー場のリフトをつくる。
- ・キャンプ場をつくる。

レジャー施設を作って、多くの人に山古志村のことを知らせる。そのためには、錦鯉と闘牛の置き物やテレホンカードを作って、都会の人に薦める。

一年に二、三回都会の人を呼ぶ

焼山スキー場にペンションや宿泊施設をつくる。

嫁不足の山古志村。集団見合いなどで嫁がしをする。

未婚の人が自分をビデオで紹介し、見合いをさせる。

都会や県外の山に興味のある女性を集め、村めぐりバスツアーを行う。そして未婚の男性を集めパーティを開く。

山古志村に別荘をいかか、と村外の人にすすめる。

種芋原 小川正枝 高校生

- ・レンタルビデオ店をつくる。
- ・映画館をつくる。
- ・芸能人を呼んでデイナーショーを開く。
- ・闘牛場を新しくする。
- ・ゴルフ場をつくる。
- ・お金をみんなに分ける。
- ・劇場をつくる。
- ・長岡駅までの直通バスを通す。
- ・宝くじを買う。
- ・バスの本数を増やす。

長岡市 高野千恵 高校生

や稲刈り、スキーをさせるなど交流をすることもいいと思う。

スキー場に最新システムのリフトと大きなホテルを作してほしい。

長岡市 土田大輔 高校生

四季の山古志写真コンテストの カレンダーができます

昨年、四季の山古志写真コンテストの入選作品を使ってカレンダーを作ったところ、非常に好評でした。特に村外者に評判が良く、今年も是非作ってほしいとの声が多く聞かれました。

このため本年も、今年行われた第二回四季の山古志写真コンテストの入選作品を使い、カレンダー

を作ります。大きき枚数とも昨年とほぼ同じで、カラー七枚の二カ月用です。価格は一部一、五〇〇円。

希望者は産業課にお申し込みください。(☎五九一三三三〇)作成枚数は五〇〇部と数に限りがあります。お早めにとぞ。

①育英資金

村在住者の高等教育実現のために、奨学金をつくる。高校生用と大学生用とし、大学生用は浪人ができるように保証する。(予備校代五〇万円×二人)大学合格者を出すことは、教育村としてのイメージアップになる。

②周辺地域野外研修村づくり

小・中学校の統合が実現したら、旧校舎を改造し青少年研修センターを各地区(二―三カ所)につくる。宿泊施設、自炊、キャンプ、トリムができるように、グラウンドその他の整備を行う。そして、これらを結ぶ遊歩道をつくる。これには、かなりの資金を必要とするので、補助金等も活用する。

一例として、種芋原のスポーツ広場と種中校舎との整備。焼山ス

③山菜園づくり

山菜を人工的に集めて、公園のようにする。湯沢のアルプの里のように自然観賞ができるようにする。もちろん、加工工場をつくった山菜も販売する。その場合、老人たちから山菜を採ってもらおうと生きがいづくりになる。

④クロスカントリーコースづくり

三、四月の豊富な残雪を利用して、クロスカントリースキーの公認コースをつくる。春季大会の誘致を考える。それに付随する各施設の整備も。

⑤民俗資料館の改良

建物もよくし、山古志の風俗、景色を写した写真や物置を整える。土産の販売、山菜や山古志牛を使

ったレストランなどをつくり、周辺地域の人がドライブで最低半日過ごせるようにする。近くにある土器時代の遺跡を整備する。

⑥以上の全体にかかわるものとして、各道路の入口に観光案内板・標識をいねいに整備する。各見所の風景のいい所にベンチをつくる。一点を中心に関連の施設を集中し、何か一つ目玉をつくる。山古志村にきたドライバーが、無駄なく全域を見て回れるような、ガイドパンフを作成する。必要な場所に駐車場を確保する。村民の部外者を「変な目」で見ると姿勢を改道を広く整備し、若い人が楽しめるようなイベントを行う。

天候に関係なくイベントができる、体育館のようなものをつくり、二四時間だれでも自由に使えるようにしておく。

山の傾斜をもつと整備し、広いスキー場をつくり、ペンションをつくる。

子供たちが遊べる、アスレチック

今まで、友達と散歩したいなど思っても、散歩するようないな所がなかった。仮にあっても、車などが通っていて危かった。だから公園を作してほしい。きちんと整備された公園でなくても、森林公園のような感じの公園で、ベンチを多くしてほしい。

山古志村は闘牛を行っているの

め、受け入れる態度を職員からまず養うこと。先進観光地を視察し、観光のノウハウを学ぶ。などが必要と思われる。悪く言えば、人をだましても来てもらって、お金を落とさせるような施設をつくっていかねばならない。それと、山古志村の産業、「米・牛・山菜・酒(山古志の名前でつくる)」を販売に結びつける方向をめざす。

※追加

高級外車を数台買い、レンタカーとして貸し出す。高級車の山古志村として、話題性がある。

種芋原 稲田清二 高校教諭

クをつくる。そして、近くに公園をつくり、お年寄りや休まれるようにする。

お盆や祭りの時など、もつといろいろな行事を行い、派手に宣伝をし、大勢の人を集めるようにする。

曲りくねった山道を使い、サーキット場をつくり、カーレースやオートバイレースを行う。

種芋原 金内由香里 高校生

だから、牛のことをもつと表面に出したらいと思う。そこで、村の人も村外から遊びに来た人も牛のことがわかるように、牛の博物館のようなものを建てればいと思う。これと同じように、錦鯉や山菜の博物館というのでもいいかもしれない。

火まつりのようなイベントをも

この一億円は、この山古志村をなくさないためにさらに発展させるために、さまざまな行事、専門施設の建設などに、フルに活用してほしいと思う。

例えば、この山古志村をもつと他地域の人に知られ、親しまれるように、「山古志村祭り」を開き、近隣の市町村にも呼びかけて最大の祭りをやってしまうのもいいと思う。内容は、村の中心地役場を利用して、有名芸能人のコンサートを開いたり、海外旅行の当たるクイズ大会を行ったりと、とにかく他地域の人(若者も老人も)からもたくさん集まってもらおうようにしたいと思う。また、それらを行う大きな施設も建設する。

種芋原 坂牧久美子 高校生

スポーツ広場のあたりから葎峠をゴンドラで結ぶ。頂上には土産物店などを作り、観光名所にする。春から秋にかけては、周囲の美しい景色が眺められるし、冬はスキーのためのゴンドラとして利用する。そのためには葎峠周辺を整備し、スキー場化させる必要がある。これが実現できたなら、種芋原は一年中賑うのではないかな。

種芋原 小川靖子 高校生

つと増やしたらどうだろうか、例えば秋に大きな祭りを行うとか。

種芋原 坂牧和人 高校生

「越のかくもち」

いかがですか

山古志産の「自然乾燥黄金もち百パーセント」の餅が作られています。商品名は「越後山古志・越のかくもち」。作っているのは虫亀の(有)広蔵(代表田中六郎さん)です。

今年正月ころから計画を立て、工場建設・機械導入・商品名決定と準備を進め、本格生産を始めたのは、「山古志産黄金もち」の穫れた一〇月中旬からです。ふだんは、近所の母ちゃん(二人)とおばあちゃん(二人)そして、主人の六郎さんと奥さんの五人で生産を行っています。

おいしい米を有効に利用して山古志らしい産物を作れないか、と考えたからです。しかし、食品は味が勝負。まず原材料の吟味から餅の袋詰めまで、いっさい手が抜けません。工程は機械化されてはいませんが、それでも人の手による所が多くあります。難かしいのは均



▲ 製品を手に、田中さんの奥さん

一に伸す事とか、季節により米をとぐ温度を変える事だそうです。

「添加物はいっさい使わないし、味には自信がある」と奥さんは自信たっぷり。先般東京に出荷したら、二日間で売り切れたとのこと。買った奥さんたちには「この自然の餡色(あんいろ)がなつかしい」と好評だったそうです。そう言われれば、市販されている餅は色が白過ぎるような気がします。今作っている餅は「普通の白いもち」、ヨモギの葉が入った「草もち」、そして「豆もち」の三種類。いずれも五〇〇グラム入りと一キログラム入りがあります。今後は添加物を使わない笹だんごも生産できたら、と田中さんは意欲的です。最近では自然食品ブームで、食品添加物ほとみに嫌われています。こういう中であって、山村らしい素材さを持つた自然食品「越のかくもち」は、大いに将来が期待されます。

価格は各三種類の餅とも五〇〇グラム入り六〇〇円、一キログラム入り一、一〇〇円です。お歳暮おみやげ等に、「広蔵さんの越のかくもち」をいかがですか。また、広蔵さんでは「質もち」もやるそうです。

お問い合わせは左記へどうぞ。
山古志郡山古志村大字虫亀三三三二七
(有) 広蔵 ☎五九一―三三六六

普及所から

農改コーナー

祭りの 終ったあと

今年も収穫の秋のメインイベント「産葉まつり」が一月三日に盛大に行われました。秋には各地からいろいろな形の「収穫祭」のたよりが聞こえてきます。その時には、日ごろ遠くで暮らしている家族や友人が集まったり、お互いが自慢の農産物を出品し合ったりと、大いに楽しめたと思います。

日々の生活を振り返ると、各人の差こそあれ、単調な繰り返しです。三度のごはんを食べ、働き、休む……。時間は今日、明日、あさってとつながってゆきます。今日も昨日と同じ、何事もなく無事に終ったと安堵する反面、時には思いもよらぬ出来事を期待する気持ちも湧いてきます。指折り数えて待つ「祭」の日。その日のためにいろいろな準備をする楽しみが見慣れた日常生活に潤いを与えてくれます。そして祭りの当日、人々の顔には喜びが溢れ、生きていくことへの感謝、新鮮さ、充実感を感じます。

しかし、祭りが終わった時の寂しさは、何とも言えません。祭りが盛大であればあるほど、疲労感と変哲のない日常生活への嫌悪感は大きく、しばらくは何も手につかないといった心境でしょう。そこで、考えてみてください。この祭りで、品評会で、自分は何を得ることができたか。それを日常生活に生かしてゆくには、どうしたらいいか。

祭りとは昔からハレの日々ともいわれ、日常とは違うめつたにない日のことでした。食べ物などもハレの食としてご馳走が食べられる、重要な日でした。いつもと違う何かをすることで、今まで知らなかった自分やふるさとの力がわかり、次はその力をいかにして日常の暮らしに生かしてゆくか……。祭りは、見慣れた日常への見直しと、新しい暮らしへのきっかけではないでしょうか。祭りで出合った人々、見つけた新しい自分を、どうか大切にしたいと思えます。祭りの終った時こそ、祭りの本当の意味が出てくるのではないのでしょうか。

さあ、また日常の暮らしが始まります。でも、祭りの前とは必ずどこかが違う日常であってほしいと思えます。
(三古農業改良普及所長岡班)

混成バレーボール大会

ジョッカーが優勝



混成バレーボール大会で東竹沢の「ジョッカーチーム」が優勝しました。準優勝は「虫亀チーム」、三位は種芋原の「クレストチーム」でした。

ニセ県庁職員にご注意!

最近、県庁福祉課職員を名乗り、老人家庭を訪問し、お金をだまし取ろうとする男がいるということ。手口は、四〇歳くらいの身なり

のよい男が、県庁福祉課職員を名乗り老人家庭を訪問し、国から老人にお金が出るようになった。ついでには、書類作成費用を出すよう

ピーという音が聞こえたら……

山古志中学校の女子生徒が、登下校時に「防犯ベル」を持っていきます。これは痴漢等に襲われた時に使うもので「ピー」という高い連続音がします。もし、みなさんがこの音を聞かれたら、すぐに駆け付けてくださるようお願いいたします。

校区の広い山古志中学校では、集団下校を指導しており、特に日暮れの早くなる一月下旬からは

ゲートボール三級審判員合格者

- 次の人たちが、「ゲートボール三級審判員」の試験に合格されました。この試験は一月一六日に長岡市の厚生会館で行われ、山古志村からは四人が受験し全員合格という好成績でした。(敬称略)
- ・五十嵐勇次郎(虫亀)
- ・小川 三郎(竹沢)
- ・風間 治雄(種芋原)
- ・小池又三郎(南平)

工業統計調査にご協力

毎年ご協力いただいている工業統計調査が、今年度も二月三十一日現在を調査日として行われます。この調査は、日本の製造業の実態がどうなっているのか調べるために行われるもので、「製造業の国勢調査」とも言われ、全国ほとんどすべての事業所を調査いたします。調査員が伺いましたら、ご協力をお願いいたします。

竹沢郵便局にお化けカボチャ

重量あてクイズで星野収入役が優勝

一〇月に竹沢郵便局へ行かれた人はご存じでしょうか、待合室に巨大なお化けカボチャが置いてありました。竹沢郵便局では、このカボチャの重量あてクイズを行いました。

この結果、郵便局利用者を中心に約一五〇人の応募があり、重量四・三キログラムにわずか一〇〇グラム差で応募した星野収入役が優勝しました。この賞品授与式が一月七日に竹沢郵便局で行われ、優勝者一人準優勝者一人に賞品が贈呈されました。このお化けカボチャを生産したのは局職員の小池清さん(竹沢)だそうです。



▶ 準優勝の高野リツ子さん